

事務事業名	道の駅たたらば壱番地管理事業	所属部	産業振興部	所属課	産業施設課
政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G	産業施設グループ	課長名	安部哲男
総計画体系	施策名 (38)観光の振興	担当者名	田部雄二	電話番号	0854-40-1093
目的	対象 市外の人・市民 意図 市内観光地を訪れ、市内で消費してもらう。	予算科目	会計 013501 大事業名 052022 中事業名 052022 大事業名	(内線)	2423
目的	基本事業名 (117)受け入れ施設の充実				観光施設管理事業
目的	対象 観光客 意図 受け入れ施設を整える。				道の駅たたらば壱番地管理事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (24年度～)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・指定管理業務、駐車場及び仮設トイレ対策等の実施 ・合併処理浄化槽の污泥引抜等維持対策 ・除雪機等備品の配備、落雪対策の実施

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	27年度実績(27年度に行った主な活動) ・指定管理更新・指定管理者対応 ①指定管理料支出他事務②施設管理状況把握 ③指定管理基本協定・年度協定締結 ・繁忙期、積雪期対応 ①仮設トイレ・駐車場区画臨時増設・車両誘導・落雪、除雪対策②合併処理浄化槽状況把握・保全対策 ・国交省チェーンペーストイレ整備及び管理に係る調整 ①指定管理者協議 ②国交省(三次河川国道事務所)協議	28年度計画(28年度に計画する主な活動) ・指定管理者対応 ・施設状況把握・対応補助 ①繁忙期、積雪期対応 (仮設トイレ・臨時駐車場対策・落雪、除雪対策等) ②浄化槽維持、状況把握・保全対応 ・施設内の観光案内機能対策 (観光案内コーナ改善等)				
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	ア 施設管理対応補助	回	98	60	100	100
	イ 指定管理者協議	回	12	10	15	15
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	①施設利用者 ②指定管理者及び参画事業者	ア 日本的人口	千人	127,298	127,083	127,110	126,193
		イ 指定管理者及び参画事業者	団体数	4	4	4	4
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
①利用者数(レジ通過者数)の増加 ①市内への観光入込客数の増加 ②指定管理者及び参画事業者による施設の有効な管理運営と活用	ア 利用者数(レジ通過者)	人	516,291	417,085	474,072	475,000	
	イ 市内観光入込客数	万人	143.8	137.7	148.3	148.0	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)
・需用費 1,028千円 ・役務費 484千円 ・委託料 9,747千円 ・使用料及び賃借料 1,743千円 ・負担金 9千円 計 13,011千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円		14,500		
	その他	千円				
	一般財源	千円	17,533	13,053	13,011	13,136
	事業費計(A)	千円	17,533	27,553	13,011	13,136
	人件費	人	3	3	2	
	正規職員従事人数	時間	500	600	600	
	延べ業務時間	千円	1,947	2,333	2,348	
	人件費計(B)	千円	1,947	2,333	2,348	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	19,480	29,886	15,359	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
H27年3月の尾道松江線全線開通後、山陽、四国方面からのアクセスも向上したことから、陰陽を結ぶ高速道の道の駅として利用者は昨年度の14.8%増であった。	繁忙期の入込客に適應できる駐車場確保や仮設トイレ設置等を行った。雪ずり対策、除雪、浄化槽機能の継続的な改善対策も行った。当施設から市内へ誘導するため町内観光施設指定管理者との連携強化の協議を実施した。国交省トイレの整備に係る調整も加え、トイレ使用対策と浄化槽対策を実施した。	・施設を拠点として高速道路利用者の市内への入込みを一層回す必要があるとの認識 ・高速道路沿いの道の駅として、市内の観光情報や地域情報の発信への期待 ・観光情報の提供や、地域情報の発信は、指定管理者と各観光関連施設、市、関係団体等との連携が重要 ・施設用観光誘導サイン設置に係る要望

事務事業名	道の駅たたらばき番地管理事業	所属部	産業振興部	所属課	産業施設課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	施設における産直市や観光事業を通じて更に地域経済への波及効果が期待できる。また、市内への誘客を促す拠点としての役割が求められていることから、情報提供のみならず、市内への観光案内なども含めた対応も観光協会等との連携により可能となる。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	中国横断自動車道尾道松江線・雲南吉田IC沿いの道の駅であり、高速道路利用者を通じて市内の観光振興に寄与しているとともに、産直市や地元産物の販売により農業振興や雇用対策にも効力を発揮している。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段(類似事業名))		観光情報や地域情報の発信に係るイベントや周遊コース、PR媒体等での共有や連携
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		理由
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		高速道路沿いの道の駅として施設利用者数の規模が大きく、施設維持管理に係る経費や、駐車場対策経費、連休、繁忙期間の対策経費を含め事業費の削減は困難である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	当面、年間を通じて浄化槽等の施設維持管理に係る対策が必要であり、尾道松江線が全線開通をして間もない現時点においては、指定管理者等による市内への観光誘導対策への支援を含めて、人件費の削減は困難な状況である。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		高速道路利用者を中心に不特定多数の利用が可能な施設であるため公平・公正である。
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		当施設が、今後も多くの施設利用者が見込める状況にある中で、指定管理者が参画事業者や市、関係団体、組織と連携をしながら、施設機能を有効に活用し、積極的な観光、地域情報の発信と、市内の産業振興に資する事業展開がさらに必要である。
B 有効性		<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性		<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性		<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上		●	維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上		●																		
	維持		×																		
	低下	×	×																		
<p>・現況と今後の施設利用者(見込み)に適切に対応できる施設管理・運営を継続して実施する。また、連休や繁忙期における駐車場、トイレ等の対策については、現状を把握しながら、利用者へのサービス向上に向けた改善を検討し、対策を講じていく。</p> <p>・利用者に対する市内の観光情報の発信や各種地域情報の提供は、対面的な接客と案内が望ましいため、指定管理者(駅長他)と市、関係団体等が連携をして、パンフレット等の媒体を有効に活用しながら取り組みを進める。</p> <p>・同道の駅を拠点として、市内の観光関連施設との連携や関係組織とのネットワーク構築等を図り、共通の指針や企画に基づき、地元商品・産品、農林産物の販売拡大も検討しながら、地域全域への経済効果の波及を目指していく。</p> <p>・国交省のトイレ建設に伴い道の駅側併設浄化槽の負荷軽減が見込まれるが、引き続き来客者の状況を踏まえながら、浄化槽を適正に維持管理していくことが必要である。</p>																					
<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)て成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																					